

マレーシアにおける廃棄物の再資源化事業（代替燃料製造） ～環境省「我が国循環産業海外展開事業化促進業務（事業案件形成調査）」～

1 事業の概要

マレーシアでは、2020年までに先進国入りすることを目指した中期計画である「WAWASAN2020」において廃棄物のリサイクル率を22%まで向上させる目標があり、これまでに、ゼロ・エミッション技術の利用促進、エネルギー消費削減、廃棄物再利用および再生を目標とする“The Third Outline Perspective Plan (2001-2010)”や、第10次マレーシア計画をはじめ、様々なグリーン戦略の考え方が打ち出されています。

これに基づき、本市エコタウン企業のアミタグループは、2017年5月に開設したAKBK循環資源製造所（現地企業ベルジャヤグループとの合弁会社の工場、マレーシアセランゴール州）において、マレーシアの製造工場から排出される指定廃棄物のセメント代替原料製造事業を進めてきましたが、今回、新たに、同指定廃棄物を原料とした石炭の代替を目的とした代替燃料（固体、液体）製造を目的とした実現可能性調査を日本の環境省、マレーシア環境局との協力のもと実施します。

- 2 受注企業 : アミタ株式会社
- 3 共同実施者 : 北九州市
- 4 事業費概算額 : 約500万円
- 5 実施期間 : 平成30年9月～平成31年3月
- 6 現地協力機関 : マレーシア環境局



【AKBK循環資源製造所】